



©Wim Riemens

# Aki Takahashi plays Morton Feldman

Morton Feldman 100th Anniversary

# 高橋アキ | プレイズ | フェルドマン

モートン・フェルドマン生誕100年を祝って

■高橋アキ(ピアノ)

2026年5月2日(土) 開場13:10／開演14:00  
神奈川県立音楽堂

JR・市営地下鉄「桜木町駅」徒歩約10分／神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘9-2

■全自由席：一般 4,000円／学生 2,000円

■主催・お問合せ：カメラータ・トウキョウ 03-5790-5560

■共催：神奈川県立音楽堂

■協賛：株式会社クリプトン ■KRIPTON

■チケット取扱い：

カメラータ・トウキョウ 03-5790-5560 (10:00-18:00) [www.camerata.co.jp](http://www.camerata.co.jp)

チケットかながわ 0570-015-415 (10:00-18:00) [www.kanagawa-arts.or.jp/tc/](http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/)

イープラス [eplus.jp](http://eplus.jp) (スマートフォン/PC/Famiポート)

▶ プレトーク ..... 13:30  
高橋アキ × 柿沼敏江 [音楽学]

▶ 開演 ..... 14:00  
高橋アキ (ピアノ)

▶ 終演予定時間 ..... 18:00  
(時間は前後する可能性があります)

モートン・フェルドマン (1926-1987)  
Morton Feldman (1926-1987)

ピアノ (1977)  
Piano (1977)

トライアディック・メモリーズ (1981)  
Triadic Memories (1981)

バニータ・マーカスのために (1985)  
For Bunita Marcus (1985)

マリの宮殿 (1986)  
Palais de Mari (1986)

■やむを得ない事情で曲目等が変更になる場合がありますのであらかじめご承知おき下さい。

■未就学児の入場はご遠慮下さい。

■チケットの価格は税込です。



©Wim Riemens

## フェルドマン生誕100年を祝う演奏会に寄せて

■高橋アキ

今年はアメリカの20世紀後半を代表する作曲家であるモートン・フェルドマン（1926–1987）の生誕100年に当たります。

その記念として、フェルドマン後期のピアノ曲を集めたコンサートを企画しました。ゆっくりと静謐な彼の音楽ですが、後期の作品はそれに加えて演奏時間の長いのが特徴です。今回は1977年から亡くなる前年の1986年までに作曲された4曲を演奏します。短い作品は30分くらいから長いものは1時間を超える作品まであります。

私は1980年にフェルドマンが教鞭をとっていたニューヨーク州立大学バッファロー校にクリエイティヴ・アソシエイトとして招かれ、亡くなるまでの7年間、身近にいて演奏活動を続けてきました。もちろん、その後も機会あるごとに演奏しています。フェルドマンは私にとって最も尊敬する重要な作曲家の1人であり、その作品からは常に演奏する喜びを与えられる大事な音楽です。

また、会場となる神奈川県立音楽堂は音響の良さでよく知られており、フェルドマンの音楽には最適かと思います。しかも鎌倉育ちの私にとっては子供の頃からコンサート通いをしていた懐かしい大事な場所ですので、この会場でフェルドマンを演奏できることは無上の喜びです。



★ケージ／サティ／シューベルト  
ハイバー・ビートルズ／邦人作曲家作品の  
シリーズも多数発売中！

フェルドマンから最大級の称賛と作品献呈を受けた  
高橋アキ=初演者による待望の録音

## モートン・フェルドマン： バニータ・マーカスのために | 高橋アキ

■M.フェルドマン：  
バニータ・マーカスのために(1985)

高橋アキ(ピアノ)

録音：2007年10月／テルデックス・スタジオ(ベルリン)

[CD] CMCD-99086 ¥2,420(税抜価格:¥2,200)

【原盤=モードレコード】

★「レコード芸術」2019年8月号【特選】



Camerata  
www.camerata.co.jp

●発売元：株式会社カ梅ラタトウキョウ  
⌚@CamerataTokyo

高橋アキ | Aki Takahashi | 鎌倉生まれ。東京藝術大学卒業後、同大学院修了。大学院在学中に武満徹作品でデビュー。透明な響きと音色、柔軟な感受性にあふれた演奏で、鮮烈な衝撃を与える。1970年初リサイタルを開催。1972年にはベルリン芸術週間、パリ秋の芸術祭などで公演し好評を博し、現代音楽グループ「サウンド・スペース・アーク」を結成し活発な演奏活動を行う。1975年より『E.サティ連続演奏会』を秋山邦晴の企画により12回にわたり開催。『E.サティピアノ全集』を校訂、「E.サティピアノ音楽全集」(東芝EMI・全8枚)をリリース。1980年、モートン・フェルドマンに招かれ、NY州立大学バッファロー校現代音楽センターのアーティスト・イン・レジデンスとしてアメリカ各地で演奏活動を行い、1984年にはカリフォルニア芸術大学客員教授を務める。1983年から横浜市の委嘱により“高橋アキ新しい耳シリーズ”を開始し、以後1997年までの15年間にわたり企画・構成を担当。ソロ、アンサンブル作品の委嘱初演、日本初演を多数行う。1986年には第1回京都音楽賞・実践部門賞を受賞。2006年春にはベルリンのメルツムジークにて5回のコンサートを行う。フェルドマン作品による公演が、NYタイムズ紙で2006年度最優秀公演に選ばれ、以降ケネディセンターをはじめ世界各地で公演。1983年と2003年に中島健蔵賞を受賞。

録音では『ハイバー・ビートルズ』シリーズ(東芝EMI・全4枚)を完成し、NYタイムズ紙で最優秀CDに選ばれる。2007年よりシューベルトのピアノ・ソナタシリーズ、2013年より新たなサティの作品集の録音をカメラタにて開始し、「シューベルト・ピアノ・ソナタ集」「モートン・フェルドマン・トリオ」の演奏で2007年度芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。1973年と2008年には文化庁芸術祭優秀賞を受賞。2011年秋の紫綬褒章を受章。2014年には第23回朝日現代音楽賞を受賞。著書に「パルランド—私のピアノ人生—」(春秋社 2013年刊)がある。

■高橋アキのホームページ <https://www.aki-takahashi.net>

## 高橋アキ プレイズ ケージ×フェルドマン via サティ

■J.ケージ:スウィングング／チープ・イミテーション／果てしないタンゴ  
■J.ケージ[M.フェルドマン編曲]:チープ・イミテーション[トリオ版]  
■伝J.ケージ:E.サティのための小石の全面、そして  
(公案としてJ.テニに密かに贈られた)

高橋アキ(ピアノ)／マーガレット・ランカスター(フルート、ピッコロ)  
デイヴィッド・シグラー(クロケンショピール)

[CD] CMCD-99087 ¥2,420(税抜価格:¥2,200) [原盤=モードレコード]

★「レコード芸術」2021年9月号【特選】



## ピアノ・トランスフィギュレーション

■尹伊桑:インタルディウムA ■松平頼則:ミニ・ヴァリアシオン  
■松平頼曉:秋山邦晴のためのメモリアル  
■湯浅廣二:内歓覚的宇宙IIトランスフィギュレーション

■M.フェルドマン:ピアノ ■T.シコルスキ:ヒムノス  
高橋アキ(ピアノ)

[CD] CMCD-15145~6(2枚組) ¥3,300(税抜価格:¥3,000)

★「レコード芸術」2018年8月号【特選】